排尿ケアチーム

排尿ケアチームとは

超高齢化社会を迎え、高齢者の排尿障害の頻度は増加しており、下部尿路症状(LUTS)の有病率は、40歳以上では38%との報告もあります。
そのため、排尿ケアチームでは、早期に尿道留置カテーテルを抜去して尿路感染を予防すること、そして排尿自立の方向へ導くことを目的として介入し、人としての尊厳を維持すること、日常生活動作の向上、早期退院、寝たきり予防のためのケアさせていただいております。

チームメンバー

- 3年以上の経験を有した泌尿器科医師、所定の研修を受講したその他医師
- 所定の研修を受講した常勤看護師
- 排尿障害を有する患者のリハビリテーションなどの経験を有する専任の常勤理学療法士
- 事務(医事課・メディカルクラーク)

活動内容

- **排尿ケアラウンド：2回/週**

尿道留置カテーテルを挿入歴のある患者さんを対象に、下部尿路症状の評価、指導を行っております。

- **排尿ケア外来：月～金曜日**

退院後も排尿ケアに関して介入が必要な患者さんについては、外来にてフォローさせていただいております。

- **院内研修会の実施：2回/年**

- **定例チーム会議**

排尿ケアにおける問題について検討、システムの見直しなどについて検討